

製品名: Sox-12 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18129**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	SOX12
別名	SOX12; SOX22; Transcription factor SOX-12; Protein SOX-22
遺伝子 ID	6666.0
SwissProt ID	O15370
免疫原	抗血清はヒト SOX12 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

背景

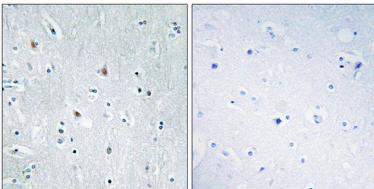
SOX ファミリー転写因子は、性決定 Y (SRY) の HMG ボックスに相同な DNA 結合高移動度グループ (HMG) ドメインを有することを特徴とします。HMG ドメインスーパーファミリーのサブグループを形成する SOX タンパク質は、多様な発生過程における細胞

運命決定に関与しています。SOX 転写因子は、発生初期において多様な組織特異的な発現パターンを示し、標的特異的転写因子および/またはクロマチン構造制御因子として機能することが示唆されています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、保存されたドメインに基づいて SOX ファミリーのメンバーとして同定され、様々な組織における発現は、複数の細胞型の分化と維持の両方に関与していることを示唆しています。[RefSeq 提供、2013 年 1 月]、機能: 5'-AACAAAT-3'配列に結合する。、類似性: 1 つの HMG ボックス DNA 結合ドメインを含む。、組織特異性: 中枢神経系 (CNS) で最も多く発現する。胎児の脳と腎臓、成人の心臓、膵臓、精巣、卵巣にも発現が認められた。その他の組織では弱陽性であった。

研究分野

-

画像データ



SOX12 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。